☑ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

作成·更新日 2024年8月9日

事業名	栃木県リ	己童館連絡	B協議会西児童館参画事業	実施計画事業or一般事業	— <u>f</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	·			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし		該当なし
1. 基本情										
	部	こども福祉部		予算中事業名	*/r	会計		事業計画	単年度	
担当組織	課	こども課		栃木県児童館連絡協議会西		款		新規or継続 市単独or国県補助	継続	
	係 体系コード	西児童館 322	名称	児童館参画事業 根拠法令、条例等	科目	項 目	_	義務or任意	市単独任意的	
	基本目標			児童福祉法	事業	開始年度	_	実施方法	正思。 直	
政策体系	政策		安心して子育てのできるまちづくり	栃木県児童館連絡協議会会		終了年度	1113	事業分類	参画	_
	施策		子育てしやすい環境の確保	則	741[[]			于未力及	》 回	于未
2. 事業 概 (1)事第	概要と目的及		画期間内)目標値		ı					
事業概要	向上を図っ	ている。	会に会員として負担金を支出している。また ども総合科学館と県内14市町の児童館							
(2)目的	ব			(3)目標値						
(= / = -				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	旧辛硷坦	万六海に トハ	、他市等の状況や有効な知識や情報を基	研修会参加回数		5	6	7	7	7
(本事業によって成し			、他中寺の状流で有効な知識で情報を基	研修会参加職員数	人	3	6	7	7	7
遂げたい			が発音に放立です。 館職員の資質向上を図る。							
状態)	MINDAG									
3. 前年 度 (1)活動		舌動及び費用]対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の抽	進移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
	(士の江野	h)		研修会参加回数		5	6	7		
	(市の活動		会に負担金を支出し、会議や研修会に参	研修全参加聯昌	人	3	6	7		
活動実績	加。	256)生形协裁	;去に負担金を文山し、去磯や切修去に多	10000000000000000000000000000000000000	人	3	0	,		
(R5年度に		見童館連絡協	協議会の活動)							
行った主な活			多の充実、普及啓発活動、児童館相互の	事業費計	千円	3	3	3		
動内容)			厚生員二級指導員の資格認定研修の実	一般財源	千円	3	3	3		
	施等。				千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値データ	の推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明			こ参加することにより、新たな情報・知識を	研修会参加回数		5	6	7		効果が上がった
(定量及び			D情報・知識を西児童館の各イベント運営	研修会 参 加職員数	人	3	6	7	値が大きいほど良い	効果が上がった
定性)	に役立てる。		シトに参加した方々に十分な満足が得ら							
	1つことに可	r ∃ 9る。								
<i>(-)</i>		- (1		
		果(自動判定						***		İ
	とR4の一般 効果が上が		費用の増減無し 2指標	※10万円以上の増減により判断 			効果が上がった	効果 効果は変わらない	効果が下がった	
効果	効果は変われ	うない指標数	0指標		費	費用は下がった	_	7/37KTOSE47 3-040	MAKA TA SIC	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	った指標数 指標全体	0指標 効果が上がった		用	費用の増減無し	0			
		旧你土件	が未が 土が 万に			冥州が祖加いた				
	をに向けた検 15年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	男等を踏まえた検討課題、費用対	対効果に	可上のための	課題			
現状維持										
(2)上詞	己反省点及び	グ課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
_	= # • + -			取組説明						
		上げるための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討							
			D事務改善の検討							

事業名 南児童館管理運営事業 実施計画事業or一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし

1. 基本情報

	部というというでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
担当組織	課	こども課		も課		款	3	新規or継続	継続事業
	係	南児童館		用汇里距台坯建名争未	科目	項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
政策体系	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法	事業	開始年度	H9	実施方法	直営
IXW M/N	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり	佐野市児童館条例	期間	終了年度	_	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保	在3170至677					_

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要 の流

・児童の健全育成を図るとともに遊びの提供の場として、こどもやその保護者など地域住民がいつでも気軽に遊んだり、各種事業に自由に参加できることにより、地域の連携を深め、また子育てに伴う経済的、精神的負担が軽減されることを目的として、子育て支援事業や四季の行事等を実施する。

・施設を安全に維持管理する。

(2)目的

(3)目標値

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

・児童館主催の各種事業を滞りなく実施することにより、児童館入館者及び各種事業への参加者増を図る。

・修繕が必要とされる箇所を修繕することにより、利用者が安心して、また、安全に利用できるようにする。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
入館者数	人	8,435	8,740	11,316	12,000	12,000
事業参加者総数	人	1,075	1,465	1,931	2,000	2,000
修繕箇所	箇所	4	4	4	0	0

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1)/01	3242	(2) 1030 000 10 0 000 10 10	,,,,,	3 7/2/->3	H-17	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
	3 (3 (3) (2) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3	子育て教室開催回数		32	30	36
	催) ・四季おりおりの行事開催	各種教室開催回数		39	40	50
活動実績 (R5年度に		行事開催回数		0	3	5
行った主な活 など) 動内容) ・ 定期的に館内外の清掃及び好	, s =,	事業費計	千円	14,271	14,043	14,782
<i>±</i> // 1□ /	・定期的に館内外の清掃及び安全点検等の実施 ※空調設備改修工事のため、4月20日から4月28日まで休館	一般財源	千円	10,524	9,615	10,482
		特定財源(国·県·他)	千円	3,747	4,428	4,300
		(うち受益者負担)	千円	646	700	716

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性) ・新型コロナウイルスが第5類へ移行し、規制が緩和されたことにより入館者等の数値が徐々にではあるが以前の状況に戻りつつある。例えば、令和2年度7,518人が令和5年度11,316人へと入館者が増え、もとに戻りつつある。また、減った事業者への参加者数を取り戻すため、実施事業のPR活動を重点的に実施した。

n	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
列	入館者数	人	8,435	8,740	11,316	値が大きいほど良い	効果が上がった
ניק	事業参加者総数	人	1,075	1,465	1,931	値が大きいほど良い	効果が上がった
	修繕箇所	箇所	4	4	4	値が小さいほど良い	効果は変わらない

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	2指標
(251246	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した	0		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

多くの市民等に来館していただくために、イベント等のPRし、周知を図る

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(家止	/ \ .⊢	再經成	四大老台切の目市!	ナンド

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

」 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

ホームページに最新情報を掲載し、周知を図るとともに、来観者へ口こみで案内する。

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

工事	יאווניטי	ルベリン	/ ート(令和 5 年度	. 大 旭刀 /			1 - 1	或•更新日	13/100	年8月9日
業名	栃木県児	己童館連絡	協議会田沼児童館参画事業	実施計画事業or一般事業	— _j	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当な
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当な
. 基本情						1		I		
NI/ADAN	部	こども福祉部		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	
当組織	課	こども課		栃木県児童館連絡協議会	予算	款		新規or継続	継続	
	係	田沼児童館	to the	田沼児童館参画事業	科目	項		市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等	= **	目		義務or任意	任意的	
策体系	基本目標		健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法		開始年度	H8	実施方法	直	
	政策 施策		安心して子育てのできるまちづくり 子育てしやすい環境の確保	栃木県児童館連絡協議会 会則	期間	終了年度	_	事業分類	参画	事業
1)事第	養概要 栃木県児重	直館連絡協議	画期間内)目標値 会に会員として負担金を支出している。また	こ、協議会主催の会議や研修会	に参加	することによ	り、児童館	職員の意見	見交換や資質	質の向上
業概要 	を図っている※協議会と	-	ども総合科学館と県内14市町の児童館	等41館で構成し、児童館運営	営の充実	強化と児童	重福祉の増	進を目的とし	した団体でも	ある 。
2)目的	<u>勺</u>			(3)目標値						
日的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 本事業に	•児童館相	互交流により.	他市等の状況や有効な知識や情報を基	研修会参加回数	<u> </u>	7	7	7	7	
◆尹耒に って成し	, , , , , , , ,		ント運営に役立てる。	研修会参加職員数	人	3	3	6	7	
遂げたい	·研修会等	参加し、児童	館職員の資質向上を図る。							
状態)										
		舌動及び費用	対効果)説明							
1)活動	助美績 T			(2)活動を説明する数値デ					1	
				活動指標 	単位	R3	R4	R5		
	(士の江毛	L\		研修会参加回数		4	6	5		
	(市の活動	•		研修会参加職員数	1	4	6	5		
動実績		2 比	会に負担金を支出し、会議や研修会に	1/11形云沙加帆貝奴	人	4	0	3		
5年度に										
た主な活			職去の心動) 多の充実、普及啓発活動、児童館相互の	事業費計	千円	3	3	3		
内容)			学の元文、自及古光石動、元重昭代立の学生員二級指導員の資格認定研修の実						ł	
	文 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	/儿 人 、儿里/	子工兵二級指导兵の負相応定列形の天	一般財源	千円	3	3	3		
))吃~~。			特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
				(万万里日兴三/	113					
3)活動	動による効果			(4) 事業効果を説明する数	(値デー	タの推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5のb
m=×00			義会の各種研修会に参加することにより、	研修会参加回数		3	3	6	値が大きいほど良い	効果が上が
果説明 ^{計量及び}			することができる。その情報・知識を東児童	研修会参加職員数	人	3	3	6	値が大きいほど良い	効果が上が
定生()	館の各イベ	ント運営に役割	立てることにより、イベントに参加した方々に							
ŕ	十分な満足	≧が得られるこ	とに寄与する。							
5)費月	用対効果結果	果(自動判定	₹)							
用(R5	とR4の一般	財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		2指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
刈未 R5とR4の		らない指標数	0指標		費	費用は下がった				
票值増減)	効果が下が	おに指標致	<u>0指標</u> 効果が上がった		用	費用の増減無し	0			
		山小八十	700本11 土11 人仁	4		J. G. SA - MINO/C				
	度に向けた検 115年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用を	対効果に	句上のための	の課題			
状維持										
2) 上語	己反省点及び	グ課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	_ 					
			、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討	4人中立のしゃ7						

	栃木県児	己童館連絡	協議会東児童館参画事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
基本	部	こども福祉部		マ祭山市サク		△ =⊥	фД	市業計画	出左床	繰り返し
当組織	課	ことも課		予算中事業名 栃木県児童館連絡協議会	予算	会計款		事業計画 新規or継続		事業
	係	東児童館		東児童館参画事業		項	2			·尹来 ·独事業
	体系コード	322		根拠法令、条例等	' '	目	_	義務or任意		的事業
555 H 77	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法	事業	開始年度	H11	実施方法	直	営
汝策体系	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり	栃木県児童館連絡協議会	期間	終了年度	_	事業分類	参画	事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保	会則		•	-	•	•	
2. 事業 (1)事	業概要		画期間内)目標値 	- 協議会主催の会議や研修会		することによ	り、児童館	職員の音見	3 交換や答	<u></u>
業概要	を図っている	0	ども総合科学館と県内14市町の児童館							
(2)目的	的			(3)目標値		1	ı		1	
目的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
本事業に	•児童館相	互交流により	他市等の状況や有効な知識や情報を基	研修会参加回数 研修会参加職員数	人	4	6	5 5	6	
よって成し	に、児童館	主催の各イベ	ント運営に役立てる。	1/11/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1		4	0	3	0	
遂げたい 状態)	-研修会等	参加し、児童	館職員の資質向上を図る。							
1人忠)										
活動実績		•	会に負担金を支出し、会議や研修会に	活動指標 研修会参加回数 研修会参加職員数	単位 回 人	R3 4 4	R4 6 6	R5 5		
R 5 年度に うった主な活	(栃木県児		議会の活動)	事業費計	千円	3	3	3		
動内容)			るの充実、普及啓発活動、児童館相互の 学生員二級指導員の資格認定研修の実							
	施等。	/儿子、儿里/	子工央――――――――――――――――――――――――――――――――――――	一般財源		3	3	3		
	20.50			特定財源(国・県・他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3) 注詞	動による効果			(4) 事業効果を説明する数	∀値デー:	タの推移			・ ↓選択して	て下さい
(3) /03	サンバーの・シング			効果指標	単位	R3	R4	R5	→ 選がし	_
4 m=v=-		童館連絡協調	義会の各種研修会に参加することにより、	研修会参加回数	回	4	6	5	値が大きいほど良い	効果が下が
办果説明	利ルる間報		することができる。その情報・知識を東児童	研修会参加職員数	人	4	6	5	値が大きいほど良い	効果が下が
(定量及び			立てることにより、イベントに参加した方々に							
(定量及び 定性)	1十分な満足	か得りれるこ	とに寄与する。							
	1 75 0 11 37					<u> </u>	I	<u> </u>	1	
定性)			-1					#1 ==		1
(5)費月	用対効果結果	果(自動判定		1 <u></u>				2311 1111		I
定性) (5)費月 費用(R5	 用対効果結り 5とR4の一般	財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断			が田代 これ・+	効果	が田代工れ、+	
(5)費月 費用(R5 効果	 用対効果結り 5とR4の一般 効果が上が	財源増減)	費用の増減無し 0指標	※10万円以上の増減により判断	弗	費用は下がった	効果が上がった		効果が下がった	=
定性) (5)費月 費用(R5	 用対効果結り 5とR4の一般 効果が上が	財源増減)った指標数のない指標数	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	費用	費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した	効果が上がった		効果が下がった	- - - -

現状維持	
------	--

(2)	上記反省占及が課題を踏まえた	今和6年度及75字和	7 年度の取組

事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明	
J. (122) 5 75	ļ

作成•更新日 令和6年8月9日

事業名	東児童館	官管理運営事業	実施計画事業or一般事業	一 射	股事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本	情報								
	部	こども福祉部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度終	繰り返し
担当組織	課	こども課	古旧帝统管理海觉事类	予算	款	3	新規or継続	継続	事業

-		部	こども福祉部	3	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	こども課		東児童館管理運営事業	予算	款	3	新規or継続	継続事業
		係	東児童館		米元里昭日任廷古尹未	科目	項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
		体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法	事業	開始年度	H11	実施方法	直営
	IXXX PT/IX	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり	佐野市児童館条例	期間	終了年度	_	事業分類	施設維持管理事業
		施等	2	子育ていやすい環境の確保	はおいた主品木の				<u> </u>	<u> </u>

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1)事業概要

・児童の健全育成を図るとともに遊びの提供の場として、こどもやその保護者など地域住民がいつでも気軽に遊んだり、各種事業に自由に参加できることにより、地域 事業概要 の連携を深め、また子育てに伴う経済的、精神的負担が軽減されることを目的として、子育て支援事業や四季の行事等を実施する。

・施設を安全に維持管理する。

(2)目的

(3)目標値

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

・児童館主催の各種事業を滞りなく実施することにより、児童館入 館者及び各種事業への参加者増を図る。

・修繕が必要とされる箇所を修繕することにより、利用者が安心し て、また、安全に利用できるようにする。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
入館者数	人	8,558	11,538	12,094	12,500	12,500
各種事業開催回数	人	57	79	116	120	120
各種事業参加者数	人	1,185	2,056	2,109	2,200	2,200
修繕箇所	箇所	1	3	1	1	1

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1) 活動宇結

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の堆移

(1)/山ま	7大慎		7/2/0	于木貝の	性1ツ	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
		子育て教室開催回数		31	37	37
マチレウ (書	・・子育て教室「わいわいタイム」の実施(毎週木曜日開催) ・四季おりおりの行事開催	各種教室開催回数		26	37	46
活動実績 (R5年度に	ねぼが中の中に /エ/トゥノノ コゼ ツトノノ コト ナ・インド	行事開催回数		0	5	5
行った主な活動内容)	1/	事業費計	千円	12,540	13,089	13,982
≢ // 1 ' 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・定期的に館内外の清掃及び安全点検等の実施	一般財源	千円	8,649	9,145	10,365
		特定財源(国·県·他)	千円	3,891	3,944	3,617
		(うち受益者負担)	千円	554	506	417

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

・新型コロナウイルスが第5類へ移行し、規制が緩和されたことにより 入館者等の数値が徐々にではあるが以前の状況に戻りつつある。ま た、減った事業者への参加者数を取り戻すため、実施事業のPR 活動を重点的に実施した。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
ŋ	入館者数	人	8,558	11,538	12,094	値が大きいほど良い	効果が上がった
ŧ	各種事業開催回数	人	57	79	116	値が大きいほど良い	効果が上がった
	各種事業参加者数	人	1,185	2,056	2,109	値が大きいほど良い	効果が上がった
	修繕箇所	箇所	1	3	1	値が小さいほど良い	効果が上がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	4指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

取組説明

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した	\circ		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

より多くの方々に子育て教室や各事業への参加を促すための周知方法等の検討

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
V	事業効果を上げるための事務改善の検討
	事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

子育て教室や各事業への参加者を増やすため、ホームページ等への掲載、各種施設(公民 館、学校、近隣金融機関、商店等)でのポスターの掲示等、より多くの方々の目に留まる周 知方法の改善に努める。

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

工尹	マンゴルなり)返りシート(令和 5 年度	シスカビノナノ			1 -7	成・更新日	ισ. _Ι μΟ	年8月91
業名	栃木県リ	尼童館連絡協議会南児童館参画事業	実施計画事業or一般事業	-	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当な
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当な
基本性									
	部	こども福祉部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
当組織	課	こども課	栃木県児童館連絡協議会	予算	款	3	新規or継続	継続	事業
	係	南児童館	南児童館参画事業	科目	項	2	市単独or国県補助	市単独	虫事業
	体系コード	322 名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的	り事業
	基本目標	3 健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法	事業	開始年度	Н9	実施方法	直	営
策体系	政策	2 安心して子育てのできるまちづくり	栃木県児童館連絡協議会	期間	終了年度		事業分類		事業
	施策	2 子育てしやすい環境の確保	会則	7 131-3	心了千皮		于未刀双		尹本
事業 相 1)事業 業概要	業概要 栃木県児重	なび (基本計画期間内) 目標値 電館連絡協議会に会員として負担金を支出している。ま	た、協議会主催の会議や研修会	念に参加]することによ	り、児童館	職員の意見	見交換や資	質の向」
2)目的	を図っている 	00	(3)目標値						
- /	Ī		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	·県児童館	連絡協議会主催の研修会に児童厚生員が参加し、新	775+145 H 1/34		6	6	7	6	IX7
事業に		情報を得ることを目的とする。その新たな知識・情報を基		人	6	6	7	6	
って成し		主催の各イベント運営に活かし、参加者に十分な満足	初		0	0	/	0	
げたい	が得られる。								
忧態)	1/1 1/ 1/1 1/1 1/10/0	()(C) 00							
前年 原 L)活動		舌動及び費用対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ活動指標	`タ及(単位	び事業費の R3	推移 R4	R5]	
				丰田	KJ	IN T			
			研修会参加回数		6	6	7		
		研修会参加職員数	人	6	6	7			
動実績	. 周旧帝命	連絡協議会主催の総会及び年度当初予定されていた	MISA STATEMENT			•	,		
5年度に									
た主な活		孫長はじめ児童厚生員が参加した。また、急遽、開催さ	事業費計	千円	3	3	3		
内容)	イルが付金	にも参加した。							
			一般財源	千円	3	3	3		
			特定財源(国·県·他)	千円					
			(うち受益者負担)	千円					
3) 汪副	動による効果		(4)事業効果を説明する数	がはデー	クの推移			↓選択して	下さい
) / /LI 3	INCO OWN		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
	. 旧旧帝命	連絡協議会の各種研修会に参加することにより、新たな		中位	6	6	7	値が大きいほど良い	効果が上か
		産品励機会の音楽が形会に多加することにより、新たる を習得することができる。その情報・知識を南児童館の	研修会参加職員数		6	6	7	値が大きいほど良い	
量及び			伽修云参加嘅貝奴	人	0	0	/	個か大きいはこ良い	効果が上た
E性)		配営に役立てることにより、イベントに参加した方々に十得られることに寄与する。							
	刀は何足刀	付り行ることでは、							
							ļ		
5)費月	用対効果結果	果(自動判定)							
∄(R5	とR4の一般	財源増減) 費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
 効果	効果が上が					効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
の末 5とR4の	効果は変わ	うない指標数 0指標		費	費用は下がった				
値増減)	効果が下が		•	用	費用の増減無し	0			,
		指標全体 効果が上がった	J		費用が増加した				ļ
	度に向けた検 和5年度の	討 『業実施における反省点、環境変化や関係者からの意り	見等を踏まえた検討課題、費用を	対効果	向上のための	の課題			
犬維持									
) ⊢≡	2万名占757	が課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組							
- / 上a	山区目出区	, 水区で回る人に、17410半皮火び7741/半皮の牧組	取組説明						
	事業の左り	方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	4X小口0儿7月						
		上げるための事務改善の検討							

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

上尹	ひりがら	ルベリン	/一下(77413 千度	. 大 旭刀 /			I F/	以· 史利口	סחוינו	+ 0/]3L
事業名	南児童飢	官管理運営	営事業	実施計画事業or一般事業		般事業	市長公約		総合戦略	
	±+n			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当な
. 基本情	部	こども福祉部		又 笞巾車 翌 夕		会計	<u></u>	車器計画	出在唐	細いた
	課	こども課)	予算中事業名	予算	款		事業計画 新規or継続		
2 二 小口小战	<u>硃</u> 係	南児童館		南児童館管理運営事業	科目			市単独or国県補助	□ 総合戦略 □ スマートシティ ■ 単年度系統 無限補調 任意的 は 直流 施設維持額 施設維持額 を	
	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等	7111	目		義務or任意		
	基本目標		健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業	開始年度		実施方法		
女策体系	政策		安心して子育てのできるまちづくり	児童福祉法		終了年度	- 115			
	施策		子育てしやすい環境の確保	佐野市児童館条例	7 13123	小、」午 及		于未刀双	が配り入小庄りつ	ロイエナス
. 事業 概 (1)事業	美概要		画期間内)目標値	/口蒜老が送ればけ口がいつです	<u>-</u>	5/ tin 🕏	孫声哭/- 亡	2 中/- 关加。	なまファレ に	
業概要	の連携を深		らともに遊びの提供の場として、こどもやその てに伴う経済的、精神的負担が軽減される 里する。						رخەدداد	*A. 161
2)目的	ব			(3)目標値						
-, ш	-			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	・児童館主	催の各種事業	業を滞りなく実施することにより、児童館入	入館者数	人	8,435				
本事業に			参加者増を図る。	事業参加者総数	人	1,075	1,465	1,931	•	2,00
って成し 遂げたい	・修繕が必要とされる箇所を修繕することにより、利用者が安心し			修繕箇所	箇所	4	4	4		
状態)	て、また、安	全に利用でき	きるようにする。							
Í										
1)活動	・子育て教室「やんちゃママ&キッズクラブ」の実施(毎週月曜日開			(2)活動を説明する数値デ活動指標	ータ及び 単位	R3	推移 R4	R5		
活動実績 ・				子育て教室開催回数		32	30	36		
	催) ・四季おりお	りの行事開係	≝	各種教室開催回数		39	40	50		
		の実施(工作	乍タイム、スポーツタイム、スターウォッチング	行事開催回数		0	3	5		
動内容)	・定期的に		現るである。 現るである。 現るである。 現るである。 は、1000円は、1	事業費計 一般財源	千円	14,271 10,524	14,043 9,615	14,782 10,482		
	※空調設机	開改修工事の	ため、4月20日から4月28日まで休館	特定財源(国・県・他)	千円	3,747	4,428	4,300		
				(うち受益者負担)	千円	646	700			
3)活重	し			(4) 事業効果を説明する数		I タの推移			↓選択して	で下さい
		·		効果指標	単位	R3	R4	R5		
	・新型コロナ	ウイルスが第	5 類へ移行し、規制が緩和されたことにより	入館者数	人	8,435	8,740	11,316	値が大きいほど良い	効果が上が
果説明	入館者等の	数値が徐々	にではあるが以前の状況に戻りつつある。ま	事業参加者総数	人	1,075	1,465	1,931	値が大きいほど良い	効果が上が
定量及び 定性)	た、減った事	業者への参	加者数を取り戻すため、実施事業のPR	修繕箇所	箇所	4	4	4	値が小さいほど良い	効果は変わら
X-11-)	活動を重点	的に実施した	- Lo							
用(R5	月対効果結婚 とR4の一般 効果が上が		É) 費用が増加した 2指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	が田松工がらな	
効果		らない指標数	2.担保 1指標	1	費	費用は下がった	が来が上がりた	州水は夕りつはい	אנא וויאנא	
R5とR4の 標値増減)	効果が下が	った指標数	0指標		用	費用の増減無し				İ
ix ie-ei/w)		指標全体	効果が上がった		/13	費用が増加した	\circ			Į
	きに向けた検 [] 5 年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用:	対効果[句上のための	の課題			
2) 上訂	記反省点及で	び課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	事業の在り	方検討(廃止	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)		i					

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

1工事	のがで	ル区リン	/一ト(令相 5 年度	美地分)			作	成・更新日	行和6	年8月5日
事業名	市管理児	己童遊園地	2維持管理事業	実施計画事業or一般事業		般事業				
. 	±+n			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	部	こども政策課		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	組り行.
担当組織		ことも課		市管理児童遊園地維持管	予算	款		争未可 四 新規or継続	継続	
19二十四小成	係	こども育成係		理事業	科目	項	2		市単独	
	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等	7111	目	4		任意的	
	基本目標		健やかで元気に暮らせるまちづくり	IZIZIZI IST PRINTS	事業	開始年度		実施方法	直	
政策体系	政策		安心して子育てのできるまちづくり	_		終了年度			施設維持	_
	施策		子育てしやすい環境の確保			#< 3 1/X		チベガス	NCDX, IET	
2. 事業 概 (1)事第	既要と目的及	なび(基本計	画期間内)目標値		l					
事業概要			也の維持管理 E地:越名町153 面積:867㎡							
(2)目的	勺			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				子育て支援まちなかプラザー日平均来館者数	人	10	10		15	15
(本事業に よって成し	こどもとそのも	呆護者が、安	心して過ごせる場所がある。							
遂げたい	200000									
状態)										
3. 前年月	度の実績(流	5動及び費用	対効果)説明							
(1)活動	動実績			(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の	推移		•	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
						3	3	3		
							,			
活動宇結	市管理であ	る児童遊園均	也の維持管理のため、地元町会に除草作							
化到失順 (R5年度に	業を委託し	た。								
行った主な活	•除草回数			事業費計	千円	30	30	50		
動内容)	・町会委託	料:50,000	円		千円	30	30	50		
						30	30	30		
				特定財源(国・県・他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(2) 江毛	ᇸᄼ			(4) 東紫効用を説明する米	5.6古二"	カル## ギ タ			1 188401 7	-T+1\
(3) 活里	動による効果 T			(4) 事業効果を説明する数 効果指標	単位	タの推移 R3	R4	R5	→選択して 指標の性質	
				子育て支援まちなかプラザー日平均来館者数	人	5	6			効果が上がった
効果説明				717 (717)			0	- 11		7,3-140 1110 110
(定量及び										
定性)										
(5) 費用	日対効果結果	果(自動判定	≘)							
	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		•
効果	効果が上が		1指標	X 1 0 / S S S S S S S S S S			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	•
メリ オ (R5とR4の		おおお押数	0指標		費	費用は下がった				
指標値増減)	効果が下が	指標全体	<u>0指標</u> 効果が上がった	1	用	費用の増減無し	0			
(1) 令和		■業実施におり ■	ける反省点、環境変化や関係者からの意で増額の要望があった。	見等を踏まえた検討課題、費用	対効果[句上のための)課題			
-⊡/U#J 左		~#U1TIC JVI	ᆫᆸᇏᄭᆽᆂᄱᄢᄭᇈ							
, ,	事業の在り	方検討(廃止 上げるための	えた、令和6年度及び令和7年度の取組、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討	取組説明						

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

仕事	の振り	ル区リン	ノート(令相5年度	美施分)			作	成・更新日	令和6:	年8月5日	
事業名	町会等詞	设置遊園地	遊具整備支援事業	実施計画事業or一般事業				該当なし	総合戦略		
a ######	+ ±0			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情	部	こども福祉部		予算中事業名		会計		事業計画	出午底:	給いたこ	
担当組織	課	こども課	'	町会等設置遊園地遊具整	予算	款		争未可 画 新規or継続			
	係	こども育成係		備支援事業	科目	項	2	市単独or国県補助	市単独		
	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等	771	目		義務or任意		3事業 9事業	
	基本目標		健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業	開始年度		実施方法	-	· 営	
政策体系	政策		安心して子育てのできるまちづくり	佐野市児童遊園地遊具施	期間	終了年度	1 /3/17	事業分類		事業	
	施策		子育てしやすい環境の確保	設整備費補助金交付要綱	7 431-3	心了一次		于未乃及	<u></u>	于木	
(1)事第	美概要 町会等が設		画期間内)目標値 重遊園地遊具施設の整備に対し補助金を 5円	を交付する。							
(2)目的	<u> </u> ፟			(3)目標値							
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
目的			子育て支援まちなかプラザー日平均来館者数	人	10	10	10		15		
(本事業によって成し	こどキ、とそのか	保護者が 宍	心して過ごせる場所がある。								
遂げたい	CCOCCOPRIGED (X-10 CA2C C S-70/1/1/10 S)										
状態)											
3. 前年 度 (1)活動		舌動及び費用	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ活動指標	- タ及で 単位	ド事業費の打 R3	<u>推移</u> R4	R5	1		
						7.5					
				補助金交付町会数	箇所	1	0	1			
活動実績	= 7 ° + 1 日辛	佐国地 (万)	DMT) 74.250M								
(R5年度に 行った主な活		遊園地(久伊	呆町) 74,250円								
動内容)	避吳俶玄			事業費計	千円	468	0	74			
				一般財源	千円	468	0	74			
				特定財源(国・県・他)	千円						
				(うち受益者負担)	千円						
(3)活重	めによる効果			(4)事業効果を説明する数	7値デー	タの推移			↓選択して	下さい	
(, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,,,,,,,			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質		
+1				子育て支援まちなかプラザー日平均来館者数	人	5	6	11	値が大きいほど良い	効果が上がった	
効果説明	新たに遊り	具等を設置せ	るのではなく、近年は遊具の撤去作業が多								
(定量及び 定性)	い。										
<i>Æ</i> 112 <i>)</i>											
(5)費用	用対効果結果	果(自動判定	₹)								
	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果			
効果	効果が上が	った指標数	1指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
メリス (R5とR4の		らない指標数 った指標数	0指標		費	費用は下がった					
指標値増減)	が未か下が	指標全体	0指標 効果が上がった		用	費用の増減無し	0				
(1) 令和		事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 ちだけで遊ぶ機会が減り、児童遊園地の利		対効果(句上のための)課題				
(2) 上詞	己反省点及で	グ課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明							
			、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討								

事業名 アストロカー管理運営事業 実施計画事業or一般事業 一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なしスマートシティ 該当なし 1. 基本情報 こども福祉部 単年度繰り返し 予算中事業名 般事業計画 会計 担当組織 課 こども課 予算 継続事業 款 3 新規or継続 アストロカー管理運営事業 こどもの国 科目項 亿 2 市場独or国原補助 市単独事業 体系コード 根拠法令、条例等 322 名称 仟章的事業 目 6 義務or任意 基本目標 3 健やかで元気に暮らせるまちづくり 事業 開始年度 H12 実施方法 直営 政策体系 移動観測車アストロカー「シリ 期間終了年度 政策 2 安心して子育てのできるまちづくり 事業分類 その他市民に対する事業 ウス」使用基準 施策 2 子育てしやすい環境の確保

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

事業概要

動く天文台アストロカー「シリウス号」の維持管理のための事業

各児童館主催の「天体観測会」や「太陽黒点観測会」、「こどもの国のイベント」、「日本宇宙少年団佐野分団活動」など、講師とともにアストロカーを派遣している。

(3)目標値

(2)目的

目的 (本事業に よって成し

遂げたい

状態)

町会、子ども会、児童館、学校等にアストロカーを派遣し、子ども達 が星座・天体観測を体験することで、自然科学への関心、興味の高 揚、理解を深める。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
37	舌動回数		15	15	20	20	20
IIIA	参加者数	人	1,500	1,800	2,000	2,000	2,000
-		_					
H							

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

D. 美續	(2) 沽動を説明する数値テ	ータ及び	事業費の推	移	
5月号広報紙に利用募集周知(10団体)	活動指標	単位	R3	R4	R5
・	活動回数		13	9	16
①こどもの国等主催事業 5回 624名 こどもフェスティバル 5月3日(祝) ~5日(祝)	参加者数	人	1,345	1,619	1,096
レクリンピック 10月15日(日)					
②日本宇宙少年団佐野分団(11月~12月)1団体(6回)	事業費計	千円	370	682	570
行动定主体活 205名 動内容) ③各団体等派遣 4団体(5回) 267名	一般財源	千円	370	682	570
南児童館 11月28日 (火) 17:00 館庭 40名 " 令和6年1月25日 (木)17:00 館庭 44名	特定財源(国·県·他)	千円			
東児童館 令和6年2月16日 (金)17:00 館庭 40名	(うち受益者負担)	千円			
	5月号広報紙に利用募集周知(10団体) ・事業実施期間 6月1日(木) ~2月29日(木) ・利用団体・日時等 ①こどもの国等主催事業 5回 624名 こどもフェスティバル 5月3日(祝) ~5日(祝) レクリンピック 10月15日(日) 新春正月遊び大会 1月8日(祝) ②日本宇宙少年団佐野分団(11月~12月)1団体(6回) 205名 ③各団体等派遣 4団体(5回) 267名 赤見町大門町会 8月6日(日) 17:00 大門公民館 105名 南児童館 11月28日(火) 17:00 館庭 40名 " 令和6年1月25日(木)17:00 館庭 44名 西児童館 11月29日(水) 16:30 館庭 38名	5月号広報紙に利用募集周知(10団体) ・事業実施期間 6月1日(木) ~2月29日(木) ・利用団体・日時等 ①こどもの国等主催事業 5回 624名 こどもフェスティバル 5月3日(祝) ~5日(祝) レクリンピック 10月15日(日) 新春正月遊び大会 1月8日(祝) ②日本宇宙少年団佐野分団(11月~12月)1団体(6回) 205名 ③各団体等派遣 4団体(5回) 267名 赤見町大門町会 8月6日(日) 17:00 大門公民館 105名 南児童館 11月28日(火) 17:00 館庭 40名 〃 令和6年1月25日(木)17:00 館庭 44名 西児童館 11月29日(水) 16:30 館庭 38名 専児養館 全折に左記書は日(火) 17:00 常原 40名	5月号広報紙に利用募集周知(10団体)	5月号広報紙に利用募集周知(10団体)	活動指標 単位 R3 R4 下門町会 R5 R4 下門 R5 R4 下門町会 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 定性)

活動回数についてR4からR5は増加したが、参加者数は減少し (定量及び た。これは、R4の3大イベント (こどもフェス、レクリンピック、新春正 月遊び大会)の参加者がR5と比較し多かったためである。

-	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	活動回数	0	13	9	16	値が大きいほど良い	効果が上がった
	参加者数	人	1,345	1,619	1,096	値が大きいほど良い	効果が下がった
-							
-							
- 1		The second state of					

(5) 費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	らとR4の一般財源増減)	費用は下がった
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下がった指標数	1指標
7日19年1日4年3年)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった		0	
	費用の増減無し	温度丛园		
用	費用が増加した	II - Wall		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

- ・予備日も含めて申請していた団体がキャンセルしたケースがあったため、確実に実施するのかを確認する必要がある。
- ・利用団体数が減少しているため、広報活動を通して周知を図る必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- □ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
- V 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- □ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

・天体観測は実施が天候に左右されることから、申請にあたり2利用日までの申請をしてもら い、確実に実施できるようにする。

・アストロカーのイベント参加の取組検討、利用団体数を増加させるためこどもの国のHPやSNS で周知を図る。

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

作成·更新日 令和6年8月9日

事業名	こどもの	国維持管理	里事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連 性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本作	青報		4. 1. 14							
	部	こども福祉部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
担当組織	課	こども課		こどもの国維持管理事業	予算	款	3	新規or継続	継続	事業
	係	こどもの国		- CC60/国框符目注事来	科目	項	2 市學独可與來稱		市単独事業	
	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的	内事業
政策体系	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	仕取すっじょの日夕/向 仕取	事業	開始年度	H12	実施方法	直	営
TX PY PY	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり	生まれたの国条例、佐野	期間	終了年度	-	事業分類	施設維持	管理事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保	市こどもの国条例施行規則						

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

平成12年3月27日に開設した、こどもの国の施設の維持管理を行う事業である。

・こどもの国敷地面積 44,000平方m 建物延床面積2,672.14平方m(総合こどもセンター2,218.95、休憩舎85.10、トイレ42.12、四阿10.39、管理詰所 80.80、車庫110.0、屋外トイレ18.0、こどもの森工作教室106.78)

事業概要 ·施設管理

業務委託(クビアカ、スズメバチ)施設管理委託(清掃、警備、果実、樹木、芝広場)、保守管理委託(電気機械、自家用電気工作物、遊戯設備、調光吊 物、移動観覧設備、からくり時計、AV機器、非常通報装置、熱帯魚水槽、防災設備、特殊展示設備、インターネット)、廃棄物処理委託(漁船内オイル)

(2)目的

(3)目標値

目的
(本事業に
よって成し
遂げたい
状態)

子ども(乳幼児から高校生までの児童生徒)と保護者が、こどもの 国を安全で快適に利用してもらう。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
施設管理上の苦情件数	件	2	2	2	2	2
	効果指標施設管理上の苦情件数	Control of the Contro	Commission of the Commission o	CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF	The second secon	THE RESIDENCE OF THE PROPERTY

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

3 7		(こ) 1日300年の1777 中3人1年7	7/20	2-7-11	L1>		
	総合こどもセンター等施設、所有車両、遊具及び備品等の点検保	活動指標	単位	. R3	R4	R5	
守、管理等 修繕関係 活動実績 (R5年度に 物件費8件(公用車1件パス1件芝刈機6件)	修繕件数	件	24	17	19		
	委託件数	件	17	17	22		
行った主な活 動内容)		事業費計	千円	23,911	24,481	26,185	
	業務委託 2 件 施設管理委託 7 件 保守管理委託 12 件 廃棄物処理委託 1 件	一般財源	千円	23,111	23,019	24,352	
	*樹木管理委託の中に危険木処理及び倒木処理委託を含む	特定財源(国·県·他)	千円	800	1,462	1,833	
		(うち受益者負担)	千円				

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明
从水水水
(定量及び
定性)
是注)

修繕について、トイレの水漏れ等突発的なものもあるが、事前に点 検し修繕すべき箇所がある場合は早急に対応するようにした。

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
施設管理上の苦情件数	件	3	5	4	値が小さいほど良い	効果が上がった
					=	
Service and a service of the service of						

(5) 費用対効果結果(自動判定)

		The second secon		
ı	費用(RS	5とR4の一般財源増減)	費用が増加した	6 M
ı	効果	効果が上がった指標数	1指標	
I		効果は変わらない指標数	0指標	
ı	(R5とR4の 指標値増減)	効果が下がった指標数	0指標	
ı	1日4年1日1日1年(1年)	指標全体	効里が上がった	

※10万円以上の増減により判断

		効果				
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
費	費用は下がった		T THE			
	費用の増減無し					
用	費用が増加した	0				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

施設の老朽化により修繕箇所が多いため、優先順位を決めて早急に対応する必要があるものから順次修繕を行う。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(廃止、休止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)	
----------	---------	------	--------------	--

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

児童厚生員の見回りにより発見した修繕箇所や来館者からの指摘箇所など様々な修繕箇所 があるが、来館者からの指摘箇所を最優先して修繕を行うよう心掛ける。

事業名	こどもの国]運営事業	ŧ	- 1	実施計画事業or一般事業	-4	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
					施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本作	青報										
		こども福祉部			予算中事業名		会計		事業計画	単年度	INDEX POSSION
担当組織	21.	こども課			こどもの国運営事業		款		新規or継続	継続	ASSESSED FOR THE PARTY OF THE P
	係。こどもの国		AT THE	担地 大人 友 的 体	科目	項		形單語の個用機動	市単独		
	体系コード	322		名称	根拠法令、条例等	THE NA			義務or任意		り事業
政策体系	基本目標			気に暮らせるまちづくり	児童福祉法		開始年度	H12	実施方法		営
	施策		20000	育てのできるまちづくり すい環境の確保	佐野市こどもの国条例	期間	終了年度	-	事業分類	その他内部	事務事業
2. 事業板 (1)事業	こどもの国は	は、平成5年	3月に、佐野	ず市の児童憲章として「こどもの行	お宣言」を行い、こどもの街の実現						
事業概要	のすべり台な ピュータを使っ 施設には子また、年間	どが設置されって自由に検? ともに遊びのを通して「こど	ている。またA 索学習できる 支援を行う「 もの国企画	総合こどもセンター内には、広い 5パソコンルームなどの設備を備 児童厚生員」が常駐し、来館 事業実行委員会」が企画・運営	4ヘクタールの広大な敷地内には空間で遊べる「プレイアトリウム」、 えている。 される子どもや家族に対して遊び ぎする各種のイベントや体験教室 と可能性を伸ばす取組を実施し	電車ののサポース、週末・	運転手の気	の安全管理	さる「交通シ	ュミレーター	、コン
(2)目的	约				(3)目標値						
					効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的					来館者数	人	80,000	85,000	90,000	95,000	#####
(本事業に よって成し 遂げたい				の保護者が、健全な遊びを通							
		() フンローナー									EDD:
No. of the last of	して楽しく安か	いして地でする	ことかできる。								
遂げたい 状態)											
遂げたい 状態)	度の実績(活動実績 常勤4名、第安全確保に 児童厚生	5動及び費用 非常動 5名の 努めている。 員事業	対効果)説	員が常駐し、遊びのサポートや	(2)活動を説明する数値デ 活動指標 講座等開催回数	夕及で 単位 回	F事業費の R3 224	R4	R5 243		
遂げたい 状態) 3.前年 (1)活動 活動実績 (R5年度に	妻の実績(活動実績 常勤4名、 安全確保に 児童厚生! 「ぴよぴよ 「わんぱく	手常動 5 名の 努めている。 員事業 タイム」(未成	対効果) 計 D児童厚生 就学児対応		活動指標 講座等開催回数	単位回	R3 224	R4 233	243		×
遂げたい 状態) 3.前年 (1)活動 活動実績	妻の実績(活動実績 常勤4名、 安全確保に 児童厚生! 「ぴよぴよ 「わんぱく	手動及び費用 非常動 5名の 努めている。 員事業 タイム」(未続 タイム」(小き で遊ぼう」	対効果) 診 の児童厚生的 就学児対応 学生対応)	員が常駐し、遊びのサポートや) 50回 1,404人 50回 688人	活動指標	単位	R3 224	R4	243		
遂(fたい 状態) 3.前年 (1)活動実績 (R5年度に 行った主な活	度の実績(活動主義) 常勤4名、第一章 全確保に 児童厚生 「ぴよぴよ 「わんぱく 「みんなで 「レクキッ) 映画事業	手動及び費用 非常動 5 名の 努めている。 員事業 タイム」(未続 タイム」(小き で遊ぼう」 ズ広場」	対効果) 診 の児童厚生 就学児対応 学生対応)	() 50回 1,404人() 50回 688人() 12回 555人() 12回 576人	活動指標 講座等開催回数	単位回	R3 224 18,002	R4 233	243 18,307		
遂(fたい 状態) 3.前年 (1)活動実績 (R5年度に 行った主な活	度の実績(活動主義) 常勤4名、第一章 全確保に 児童厚生 「ぴよぴよ 「わんぱく 「みんなで 「レクキッ) 映画事業	手動及び費用 非常動 5名の 努めている。 員事業 タイム」(未続 タイム」(小き で遊ぼう」	対効果) 診 の児童厚生 就学児対応 学生対応)	員が常駐し、遊びのサポートや) 50回 1,404人 50回 688人 12回 555人	活動指標 講座等開催回数 事業費計	単位回	R3 224 18,002	R4 233 17,883 17,837	18,307 3,234		
遂(fたい 状態) 3.前年 (1)活動実績 (R5年度に 行った主な活	度の実績(活動主義) 常勤4名、第一章 全確保に 児童厚生 「ぴよぴよ 「わんぱく 「みんなで 「レクキッ) 映画事業	手動及び費用 非常動 5 名の 努めている。 員事業 タイム」(未続 タイム」(小き で遊ぼう」 ズ広場」	対効果) 診 の児童厚生 就学児対応 学生対応)	() 50回 1,404人() 50回 688人() 12回 555人() 12回 576人	活動指標 講座等開催回数 事業費計 一般財源 特定財源(国·県·他)	単位 回 千円 千円	R3 224 18,002 17,964	R4 233 17,883 17,837	243 18,307		
遂(fたい 状態) 3.前年 (1)活動実績 (R5年度に 行った主な活	度の実績(活動を実績) 常動4名、第一章 全確保に 児童厚生 「ぴよぴよ」「わんぱく」 「みんなで、「レクキッ) 映画事業	手動及び費用 非常動 5 名の 努めている。 員事業 タイム」(未続 タイム」(小き で遊ぼう」 ズ広場」	対効果) 診 の児童厚生 就学児対応 学生対応)	() 50回 1,404人() 50回 688人() 12回 555人() 12回 576人	活動指標 講座等開催回数 事業費計 一般財源	単位回千円千円	R3 224 18,002 17,964	R4 233 17,883 17,837	18,307 3,234		
遂げたい 状態) 3.前年版(1)活動実績(R5年度に行った主な活動内容)	度の実績(活動を実績) 常動4名、第一章 全確保に 児童厚生 「ぴよぴよ」「わんぱく」 「みんなで、「レクキッ) 映画事業	手動及び費用 非常動 5 名の 努めている。 員事業 タイム」(未続 タイム」(小き で遊ぼう」 ズ広場」	対効果) 診 の児童厚生 就学児対応 学生対応)	() 50回 1,404人() 50回 688人() 12回 555人() 12回 576人	活動指標 講座等開催回数 事業費計 一般財源 特定財源(国·県·他)	単位 回 千円 千円 千円	18,002 17,964	R4 233 17,883 17,837	18,307 3,234	↓選択し	
遂げたい 状態) 3.前年版(1)活動実績(R5年度に行った主な活動内容)	度の実績(活動実績 常勤4名、 第 安全確保に 児童厚生! 「ぴょぴょ 「わんぱく 「みんなで 「レクキッズ 映画事業 こども映画	手動及び費用 非常動 5 名の 努めている。 員事業 タイム」(未続 タイム」(小き で遊ぼう」 ズ広場」	対効果) 診 の児童厚生 就学児対応 学生対応)	() 50回 1,404人() 50回 688人() 12回 555人() 12回 576人	活動指標 講座等開催回数 事業費計 一般財源 特定財源(国·県·他) (うち受益者負担)	単位 回 千円 千円 千円	18,002 17,964	R4 233 17,883 17,837	18,307 3,234	↓選択し	C下さい R4とR5の比較
遂(ft)(以 状態) 3.前年 (1)活動 活動実績 (R5年度に 行った主な活動内容)	妻の実績(活動実績) 常勤4名、第一章 全確保に 児童厚生! 「ぴょぴょ 「わんぱく」 「わんぱく」 「かんなて」 「レクキッジ 映画事業 こども映画動による効果	手動及び費用 非常動 5 名の 努めている。 員事業 タイム」(小きで遊ぼう) ズ広場) 画館(日曜・初	対効果) 計 の児童厚生。 就学児対応 学生対応) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 が常駐し、遊びのサポートや 50回 1,404人 50回 688人 12回 555人 12回 576人 50回 1,086人 	活動指標 講座等開催回数 事業費計 一般財源 特定財源(国·県·他) (うち受益者負担) (4)事業効果を説明する数	単位 回 千円 千円 千円	R3 224 18,002 17,964 38 9の推移	R4 233 17,883 17,837 46	243 18,307 3,234 15,073	→ 選択して 指標の性質	
遂げたい 状態) 3.前年版(1)活動実績(R5年度に行った主な活動内容)	妻の実績(活 恵実績 常勤 4 名、。 安全確保に 児 ぴょぴょ 「わんぱく 「わんぱく 「かんなで 「レクキップ 映画 も映画 動による効果 R 3 までは、。 ければならな	手動及び費用 非常動 5 名の 努めている。 員事業 タイム」(小きで遊ぼう) ズ広場) 画館(日曜・初 新型コロナウ・ にいものもあり、	対効果) 計 の児童厚生。 就学児対応 学生対応) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 う 50回 1,404人 50回 688人 12回 555人 12回 576人 50回 1,086人 	活動指標 講座等開催回数 事業費計 一般財源 特定財源(国·県·他) (うち受益者負担) (4)事業効果を説明する数 効果指標 来館者数	単位 回 千円 千円 千円 千円	R3 224 18,002 17,964 38 9の推移 R3	R4 233 17,883 17,837 46	243 18,307 3,234 15,073	↓選択しる指標の性質	R4とR5の比較
遂げたい 状態) 3.前年版(1)活動実績(R5年度な活動内容) (3)活動 効果説明	妻の実績 (活動実績 常勤 4 名、	手動及び費用 非常動 5 名の 努めている。 員事業 タイム」(小きで遊ぼう) で遊ぼう」 が正成場 」 動館(日曜・初 新型コロナウ・ にものもあり、 の事業を実施	対効果) 計 の児童厚生。 就学児対応 学生対応) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 が常駐し、遊びのサポートや 50回 1,404人 50回 688人 12回 555人 12回 576人 50回 1,086人 	活動指標 講座等開催回数 事業費計 一般財源 特定財源(国·県·他) (うち受益者負担) (4)事業効果を説明する数 効果指標 来館者数	単位 回 千円 千円 千円 千円	R3 224 18,002 17,964 38 9の推移 R3	R4 233 17,883 17,837 46	243 18,307 3,234 15,073	↓選択しる指標の性質	R4とR5の比較
遂げたい 状態) 3.前年版(1)活動 活動実績(R5年度に行った主な活動内容) (3)活動 効果説明(定量及び	妻の実績(活 恵実績 常勤 4 名、。 安全確保に 児 ぴょぴょ 「わんぱく 「わんぱく 「かんなで 「レクキップ 映画 も映画 動による効果 R 3 までは、。 ければならな	手動及び費用 非常動 5 名の 努めている。 員事業 タイム」(小きで遊ぼう) で遊ぼう」 が正成場 」 動館(日曜・初 新型コロナウ・ にものもあり、 の事業を実施	対効果) 計 の児童厚生。 就学児対応 学生対応) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 う 50回 1,404人 50回 688人 12回 555人 12回 576人 50回 1,086人 	活動指標 講座等開催回数 事業費計 一般財源 特定財源(国·県·他) (うち受益者負担) (4)事業効果を説明する数 効果指標 来館者数	単位 回 千円 千円 千円 千円	R3 224 18,002 17,964 38 9の推移 R3	R4 233 17,883 17,837 46	243 18,307 3,234 15,073	↓選択しる指標の性質	R4とR5の比較
遂げたい 状態) 3. 前年版(1)活動実績(R5年主な活動内容) (3)活動 対策のである。 (3)活動 対策のである。 (3) 活動 対策のである。 (4) によっている。 (4) によって	妻の実績 (活動 4名、) 第 4名、) 第 4名、 安全 全	手動及び費用 非常動 5 名の 努めている。 員事業 タイム」(小きで遊ぼう) ズ広場) 画館(日曜・初 新型コロナウ・ にいものもあり、 の事業を実施	対効果)診の児童厚生が就学児対応学生対応)	 う 50回 1,404人 50回 688人 12回 555人 12回 576人 50回 1,086人 	活動指標 講座等開催回数 事業費計 一般財源 特定財源(国·県·他) (うち受益者負担) (4)事業効果を説明する数 効果指標 来館者数	単位 回 千円 千円 千円 千円	R3 224 18,002 17,964 38 9の推移 R3	R4 233 17,883 17,837 46	243 18,307 3,234 15,073	↓選択しる指標の性質	R4とR5の比較
遂げたい 状態) 3. 前年版(1)活動 (1)活動 (R5年主な活動内容) (3)活動 効果説明(定量及び 定性)	まの実績 (活動 年 名 、	手動及び費用 非常動 5 名の 努勢 5 名の 野事業 タイム」(小き タイム」(小き で遊ぼう) ズ広場」 画館(日曜・初 新型コロナウ・ いものもを実施 といものを実施	対効果)診の児童厚生が就学児対応学生対応)	 う 50回 1,404人 50回 688人 12回 555人 12回 576人 50回 1,086人 	活動指標 講座等開催回数 事業費計 一般財源 特定財源(国·県·他) (うち受益者負担) (4)事業効果を説明する数 効果指標 来館者数	単位 回 千円 千円 千円 千円	R3 224 18,002 17,964 38 9の推移 R3	R4 233 17,883 17,837 46	243 18,307 3,234 15,073 R5 90,893	↓選択しる指標の性質	R4とR5の比較
遂げたい 状態) 3.前年版(1)活動 (1)活動 (R5年度に行った主な活動内容) (3)活動 効果説明(定量及び定性) (5)費用(R:	まの実績(活動実績) 常勤4名、第一章を発展している。 「おります」 では、 「おりない」 「おりない」 「かんない」 「おいない」 「はいない」 「はいない」 「はいない」 「はいない」 「はいいない」 」 「はいいないないない」 「はいいないないないないないない。」 「はいいないないないないないないないないないないないないないないないないないない	手動及び費用 非常動 5 名の 弱めている。 員事業 タイム」(小きで遊ぼう) ズ広場) 画館(日曜・初 新型コロナウ・ ないものもあま施 といもの事業を実施 関射源増減)	対効果)診の児童厚生が就学児対応学生対応)	 う 50回 1,404人 50回 688人 12回 555人 12回 576人 50回 1,086人 	活動指標 講座等開催回数 事業費計 一般財源 特定財源(国·県·他) (うち受益者負担) (4)事業効果を説明する数 効果指標 来館者数	単位 回 千円 千円 千円 千円	R3 224 18,002 17,964 38 9の推移 R3	R4 233 17,883 17,837 46 R4 85,389	18,307 3,234 15,073 R5 90,893	↓選択して 指標の性質 個が大きいほど良い	R4とR5の比較
遂げたい 状態) 3.前年版(1)活動 (1)活動 (R5年度に行った主な活動内容) (3)活動 効果説説明(定量とででは、1)で定性) (5)費用(R)が果	変の実績 (活動実績 名名、) 学数 4名、 (活動 4名、) 学数 4名、 (ではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	手幣及び費用 非常勤5名の 野事がいる。 員をおります。 タイム」(小きでがは場) でがは場り 一部である。 一である。 一でもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	対効果) 対効果) が対果) が対果 が対象 が対象 が対象 が対象 が対象 が対象 が対象	 う 50回 1,404人 50回 688人 12回 555人 12回 576人 50回 1,086人 	活動指標 講座等開催回数 事業費計 一般財源 特定財源(国·県·他) (うち受益者負担) (4)事業効果を説明する数 効果指標 来館者数	単位回 千円千円千円千円	R3 224 18,002 17,964 38 9の推移 R3	R4 233 17,883 17,837 46	18,307 3,234 15,073 R5 90,893	↓選択しる指標の性質	R4とR5の比較
遂げたい 状態) 3.前年版(1)活動 (1)活動 (R5年度に行った主な活動内容) (3)活動 効果説明(定量及び定性) (5)費用(R:	変の実績 (活動実績 常勤 4 名、記 安全 年保に	手幣及び費用 非常勤5名の 野事がいる。 員をおります。 タイム」(小きでがは場) でがは場り 一部である。 一である。 一でもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	対効果)診の児童厚生の記学児対応)に対している感染症できたため、関係に対している。	員が常駐し、遊びのサポートや) 50回 1,404人 50回 688人 12回 555人 12回 576人 50回 1,086人 50回 1,086人 (大数とも減少していたが、R4 5、開催回数及び来館者数とも 1指標	活動指標 講座等開催回数 事業費計 一般財源 特定財源(国·県·他) (うち受益者負担) (4)事業効果を説明する数 効果指標 来館者数	単位 回 千円 千円 千円 千円	R3 224 18,002 17,964 38 9の推移 R3 53,107	R4 233 17,883 17,837 46 R4 85,389	18,307 3,234 15,073 R5 90,893	↓選択して 指標の性質 個が大きいほど良い	R4とR5の比較

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・こどもの国の事業として、企画事業実行委員会支援事業(こどもフェス、レクリンピック、愉快なクリスマスコンサート、新春正月遊び大会等)に目を向けられがちになるが、こどもの 国に対する意見や要望を踏まえ、児童厚生員として実施できるものについては新たな取組等を行うことが必要。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(磨止,休止	五編成.	受益者負担の見直しなど	

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

・こどもの国に対する意見や要望を踏まえて、「ぴよぴよタイム」や「わんぱくタイム」等の児童厚生 員事業において新たな取組を行う。

・こどもの国のホームページやツイッターを活用し、こどもの国の各種事業の周知を行い、来館者 を増加させる。

仕事	の振り	返りシ	ノート(令和5年度	実施分)			4FE	成·更新日	令和6	年8月9日
事業名	こどもの	国企画事	業実行委員会イベント開催事業	実施計画事業or一般事業		般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
1. 基本作	青報			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ		スマートシティ	該当なし
	部	こども福祉部	3	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
担当組織	課	こども課		こどもの国企画事業実行委員	予算	款		新規or継続	継続	事業
	係	こどもの国		会イベント開催事業	科目	項	2	市单独or国旗被助	市単独	虫事業
	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的	勺事業
政策体系	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	スピナの国の東東衆安に委員	事業	開始年度	H12	実施方法	直	営
IX 來 IX 來	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり	こどもの国企画事業実行委員 会会則	期間	終了年度	_	事業分類	イベント等	開催事業
	施策		子育てしやすい環境の確保	一五五則						
(2)目的		上画事業美行	委員会委員は10名	(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	児音 (羽4	カリカム草校	生まで)とその保護者が、イベントや講座に	講座等参加者数	人	14,000	15,000	16,000	17,000	18,000
(本事業によって成し遂げたい			士の交流や家族とのコミュニケーションを深							
状態)										
3. 前年 B (1)活動		活動及び費用	目対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の	住移			
	1. 4大人	ベント 6回	8.152 Д	活動指標	単位	R3	R4	R5		
	・こどもフェ	スティバルinS	ANO2023、レクリンピック、愉快なクリスマ	来館者数	人	53,107	85,389	90,893		
活動実績		、新春正月遊 数室事業 14		講座等開催回数	0	234	296	306		
占س (R5年度に		事業 7回 3					1			

動内容)

(定量及び

定性)

行力た主な活 4. 学校連携(果実収穫体験移動教室) 9回 605人

5. 児童厚生員事業 127回 3,290名

6. こども映画館 50回 1,086名

7. 支援団体事業 8回 296名

8. 宇宙少年団 21回 1,307名

活動指標	単位	R3	R4	R5
来館者数	人	53,107	85,389	90,893
講座等開催回数		234	296	306
事業費計	千円	319	975	950
一般財源	千円	319	975	950
特定財源(国·県·他)	千円			
(3左母共安色妇)	Im			

(3)活動による効果

R3からR4にかけて参加者が増加しているのは、コロナウイルス感染 症の影響で未実施だった事業が、R4に全て実施できたため、増加

効果説明したものである。

また、R4からR5にかけて参加者数が減少していることについては、一 部の事業において増加は見られたものの4大イベントをはじめとした 各種事業において参加者が減少したことによるものである。

(4)	事業効果を説明する	数値データ	の推移		
	効里指標	当位	D3	D/I	D5

↓選択して下さい

	がかればいた	+177	L)	174	LO	加快V八工與	KACKJOYLUKK
	講座等参加者数	人	8,083	18,315	15,868	値が大きいほど良い	効果が下がった
							TA HIS
_							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し	
効果	効果が上がった指標数	0指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下がった指標数	1指標	
/自保旭·省减,)	指標全体	効果が下がった	

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			0
用	費用が増加した	at it		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・企画事業実行委員会主体の事業の見直しが必要、また、今後こどもの国の運営を支援するボランティアの育成等が必要である。

・各種事業の周知活動が不足している。様々な手法で、こどもの国や事業活動のPRを実施する。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方給討	/底山	Hit	面细式	四大字色切の目市	+121

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

- ・事業を実施するにあたり、個人・団体ボランティア受け入れの取組を行う。
- ・企画事業実行委員会とボランティアの連携を図る。
- ・こどもの国の4大事業をはじめとした各種事業について、HP、SNS、広報紙等を利用して周 知活動の充実を図る。

作成·更新日 2024年8月9日

事	事業名	西児童館	馆管理運営事業	実施計画事業or一般事業	— 舟	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1	. 基本¶	情報			-		•			
		部	こども福祉部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度組	燥り返し
		\	- 1" (- m				_		6 to 1 . 4 . 4 . 4 . 4 . 4 . 4 . 4 . 4 . 4 .	- 1114

		部 こども福祉部 4組織 課		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	担当組織			 西児童館管理運絵事業 .		款	3	新規or継続	継続事業	
		係	西児童館		四元里郎官埕建松争未	科目	項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
		体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
		基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法		開始年度	H13	実施方法	一部委託
		政策	2	安心して子育てのできるまちづくり	佐野市児童館条例		終了年度		事業分類	施設維持管理事業
		施策	2	子育てしやすい環境の確保	「江北」いり、皇昭木で			•		

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

・児童の健全育成を図るとともに遊びの提供の場として、こどもやその保護者など地域住民がいつでも気軽に遊んだり、各種事業に自由に参加できることにより、地域 の連携を深め、また子育てに伴う経済的、精神的負担が軽減されることを目的として、子育て支援事業や四季の行事等を実施している。 事業概要

・施設を安全に維持管理する。

(2)目的

(3)目標値

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

・児童館主催の各種事業を滞りなく実施することにより、児童館入 館者及び各種事業への参加者増を図る。

・修繕が必要とされる箇所を修繕することにより、利用者が安心し て、また、安全に利用できるようにする。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
各種事業の開催回数		93	116	116	120	120
各種事業の参加人数	人	1,168	1,592	1,197	1,600	1,600
入館者数	人	5,142	6,762	6,531	7,000	7,000
施設の修繕件数	件	3	1	1	1	1
					ĺ	

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
	第1~3金曜日)子育て教室、ミニミニ運動会、ミニミニクリスマス 会動実績 会、ミニミニお楽しみ会の実施。	子育て教室開催回数		49	58	58
		各種教室開催回数		44	54	54
(R5年度に		行事開催回数	回	0	4	4
		事業費計	千円	11,884	12,114	12,611
		一般財源	千円	9,543	9,911	9,382
		特定財源(国·県·他)	千円	2,341	2,203	3,229
		(うち受益者負担)	千円	166	252	433

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)
(定量及び
完性)

・新型コロナウイルスが第5類へ移行したが、入館者数等の改善に は至らなかった。 ・減った事業への参加者数を取り戻すため、実施事業の P R 活動

重点的に実施した。 ・こどもとその保護者が、安心して過ごせる場所がある。

ı-	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
اد	各種事業の開催回数		93	116	116	値が大きいほど良い	効果は変わらない
かを	各種事業の参加人数	人	1,168	1,592	1,197	値が大きいほど良い	効果が下がった
na.	入館者数	人	5,142	6,762	6,531	値が大きいほど良い	効果が下がった
	施設の修繕件数	件	3	1	1	値が小さいほど良い	効果は変わらない

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	2指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	2指標
指標値増減)	指標全体	効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			\circ
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

悪天候や、PR不足などの影響により季節のイベントや各種教室の参加者が減少したことにより、入館者数も減少した。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
✓	事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

子育て教室や各種事業への参加者を増やすためのイベントのPR策として、ホームページ、SNS への掲載、各種施設でのポスターの掲示など人の目にとまる事業の改善に努める。

仕事	の振り)返りシ	ルト(令和5年度	実施分)			作	成・更新日	令和6年	
事業名	こどもの	国総合こど	もセンター等空調設備改修事業	実施計画事業or一般事業	_	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
2 210 11			The same of the sa	施策横断的な取組との関連性					スマートシティ	該当なし
1. 基本作	青報									
	部	こども福祉部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	期間限定	複数年度
担当組織	課	こども課		こどもの国総合こどもセンター	予算	款	3	新規or継続	新規	事業
	係	こどもの国		等空調設備改修事業	科目	項	2	市率独or即澳洲阶	市単独	虫事業
	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的	勺事業
政策体系	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市こどもの国条例、佐野	事業	開始年度	H12	実施方法	直	営
BASICITAL	政策 2 安心して子育てのできるまちづくり		市こどもの国条例施行規則	期間	終了年度	-	事業分類	施設等數	è備事業	
	施策	2	子育てしやすい環境の確保	TIPECOVE A TIME TO THE						
2. 事業標 (1) 事等	業概要 こどもの国総 現在の空間	総合こどもセンタ 問設備はガス方	画期間内)目標値 ター及びこどもの森工作教室の空調設備に 方式(吸収式冷温水機型)だが、他の2万 (マルチエアコン型)を採用した。				わせて3方	式の設計を	行い、性能	ミやコスト
(2)目的	ćı .			/2)口怖体						
(2) 日	1			(3)目標値 効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				空調に関する苦情件数	件 件	K3 4	The same of the sa			4
(本事業に	こどもの国の	空調設備を改	攻修することで、来館者が快適に施設を利	上時に成りる日刊19人	- 11	7	- 4	7	7	
よって成し 遂げたい	田することができる									
状態)										/
(1)活動	的実績 ・建築住宅 ・指名競争 ・契約期間 ・契約金額	課へ設計業務 入札(業者道 : 令和5年5 : 2,673,00	麗定) 月19日~令和5年9月30日	(2)活動を説明する数値デ 活動指標 実施設計数 改修方式協議回数	- 夕及で 単位 件 回	S事業費の R3 0 0	R4 0	-	15	
(R5年度に	・業者が空		て、既設方式、ガスヒーポン方式、電気					Later II.		
行った主な活動内容)	(イルナエ)		3案を作成、業者、建築住宅課及びこど	事業費計	千円	0	0	2,673		
	Commission of the Commission o		現要、制御制、安全性、保守管理、コスト ルチエアコン(電気)方式を選定した。	一般財源	千円	0	0	2,673		
	(R5.9)		VI II (PEXI) / JIVEEZALO/Co	特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0		
	·業務委託	完了払(R5	.12.11)	(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
(3)活動	助による効果			(4) 事業効果を説明する数	で値デー	タの推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明			3は0件であったのが、R4では4件となり、	空調に関する苦情件数	件	0	4	9	値が小さいほど良い	効果が下がった
(定量及び			る。これは、空調設備の不良が要因とされ							
定性)	定性) るものであり、これを踏まれて令相5年度から空調設備の改修工事									
	を実施する	こととなった。								
							1			NEW YORK
(5)費用	用対効果結果	果(自動判定								
S area less	TALES CO	- 18.1 8 .00	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果		らない指標数	0指標 0指標		yper	費用は下がった	The second second second	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の 指標値増減)		った指標数	1指標		費用	費用の増減無し				
1日1京胆(香蕉)	指標全体の地域があった。			用	IN THE SHOW SELL IN	The same of	STATE OF THE PARTY	0		

指標全体 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・設計業者とは3回設計についての協議を行った。1回目は業者に対するこどもの国の概要、要望等を説明し、業者からは実施設計に関する説明をいただいた。2回目に業者 が作成した改修案を踏まえて検討、3回目に2回目で協議修正したものを踏まえて、電気方式とする事とした。

(2)	上記反省点及び課題を踏まえた。	令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、	休止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)
--	----------	------	-----	------	--------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

② 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

・令和5年度の実施設計を受けて、令和6年度に改修工事を実施する。

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

作成・更新日 令和6年8月9日

事業名 栃木県児童館連絡協議会こどもの国参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

	部	こども福祉部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し		
	課	こども課		栃木県児童館連絡協議会ご	予算	款	3	新規or継続	継続事業		
	係	こどもの国		どもの国参画事業	科目項		2	市単独or国県補助	市単独事業		
	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業		
政策体系	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法、栃木県児童館	事業	開始年度	H12	実施方法	直営		
TYNK LANGE	政策	2	立 こしてフ 本てのでキスキナベンり			連絡協議会会則		終了年度	ı	事業分類	参画事業
	施策	2	子育てしやすい環境の整備			•		•			

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要

栃木県児童館連絡協議会に会員児童館として負担金を支出し、県協議会の研修やブロック別研修会に参加、その結果情報等を職員間で共有することで、児童 厚生員の資質向上、児童厚生員事業の新たな遊びの情報収集、他の児童館との交流・情報収集を図る。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		研修会参加者数	人	4	4	4	4	4
(本事業に	職員(館長及び児童厚生員等)の資質の向上及び他の児童館							
よって成し 遂げたい	との交流や情報交換が図られる。							
状態)								
,								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

			///			
		活動指標	単位	R3	R4	R5
		研修会参加者数	人	4	2	3
活動実績 (R5年度に	活動実績 -研修会、児童厚生員等講習会への参加 (3人)					
・ 行った主な活 動内容)	館長研修1回、児童厚生員研修1回2名 ・栃木県児童館連絡協議会へ負担金の支出	事業費計	千円	3	3	3
3), 10,		一般財源	千円	3	3	3
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

目標値には及ばなかったが、研修スケジュール内容から児童厚生員 の希望する研修に参加してもらうことはできた。

	郊果指標	里位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	研修会参加者数	人	4	2	3	値が大きいほど良い	効果が上がった
員							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	1指標
(効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し	0		
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

毎年4月に栃木県児童館連絡協議会総会で年間の活動計画が示されるが、申込通知等は後日送付されるので、希望する研修を受講できない場合もあった。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、全	令和6年度及び令和7年度の取組
----------------------	-----------------

_	=** ~ + \ + \ -			
	争業の仕り力快割	(廃止、休止、	、冉編成、	受益者負担の見直しなど)

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

栃木県児童館連絡協議会総会資料の年間スケジュールから研修メニューを事前に把握し、計画的に児童厚生員が研修に参加できるようにする。

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

② 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

111				./\\\						
事業名	南児童館	官空調設備	前改修事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本性		マ じナ カラカトウロ		マ笠山市サク		∧= L	фЛ	声 ₩=1 ==	₩Æ.	≐ 0.7.
担当組織	部課	こども福祉部)	予算中事業名 南児童館空調設備改修	予算	会計 款		事業計画 新規or継続	単年原新規	-
	係	南児童館		事業		項	2		市単独	
	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	義務的	
水生生衣	基本目標 3 健やかで元気に暮らせるまちづくり			事業	開始年度	Н4	実施方法	直	営	
政策体系	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり		期間	終了年度	Н5	事業分類	施設維持	管理事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保							
2. 事業 机 (1) 事業		をび (基本計	画期間内)目標値							
事業概要	·施設利用	者が安心・安	全に施設が利用できるよう空調設備の改修	彦を行う。						
(2)目的	勺			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				入館者数	人	8,435	8,740	11,316	12,000	12,000
(本事業によって成し		者が安心・安	全に利用できるように施設の維持管理を	修繕箇所数	箇所	0	0	4	0	0
遂げたい	行う。									
状態)										
3. 前年 原(1)活動		舌動及び費用]対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	 	推移		1	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				改修したエアコン台数	台		0	11		
					台		0	3		
活動実績				SALVONE ENTINAL SA						
(R5年度に 行った主な活			具合が生じている空調設備(エアコン11 ななにった		_					
動内容)	台、室外機3台)の改修を行った。			事業費計	千円	0	0	10,299		
				一般財源	千円		0	10,299		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
				(万万文皿 日兴)三/	113			<u> </u>	j	
(3)活動	かによる効果	:		(4) 事業効果を説明する数			ı		↓選択して	
	・キャル・	ᅎᆸᄼᅑᄺᆙ	ていた空調設備を新たなものに改修するこ	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
効果説明			こ利用できた。併せて、使用電気料の削減	入館者数 修繕箇所数	人 箇所	8,435 0	8,740 4	11,316		効果が上がった 効果が上がった
(定量及び			年度1,032,521円かかっていた電気代も	15/16 (2) / 1 (3)	四//	0	-			MAN IN SIC
定性)			ー 円と削減できた。							
(5)費月	用対効果結果	果(自動判定	፰)							
	とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が	うた指標数	2指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の		らない指標数 った指標数	0指標 0指標		費	費用は下がった				
指標値増減)		指標全体	効果が上がった]	用	費用が増加した	0			
	4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題									
事業終了										
(2) F≣	7.反省占及7	/洋果題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
(-		○ P\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		取組説明						
		上げるための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討							

事業名 田沼児童館管理運営事業 実施計画事業or一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし

1. 基本情報

	担当組織	部	こども福祉部 こども課 田沼児童館		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
		課			田沼児童館管理運営事業	予算	款	3	新規or継続	継続事業
		係			山石光里路各连建名争来	科目	項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
	政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
		基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法		開始年度	H8	実施方法	直営
		政策	2	安心して子育てのできるまちづくり	佐野市児童館条例	期間	終了年度	l	事業分類	施設維持管理事業
		施策	2	子育てしやすい環境の確保			•	•		

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

, IE

事業概要

・児童の健全育成を図るとともに遊びの提供の場として、こどもやその保護者など地域住民がいつでも気軽に遊んだり、各種事業に自由に参加できることにより、地域の連携を深め、また子育てに伴う経済的、精神的負担が軽減されることを目的として、子育て支援事業や四季の行事等を実施する。

・施設を安全に維持管理する。

(2)目的

(3)目標値

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

・児童館主催の各種事業を滞りなく実施することにより、児童館入館者及び各種事業への参加者増を図る。

・修繕が必要とされる箇所を修繕することにより、利用者が安心して、また、安全に利用できるようにする。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
入館者数	人	5,082	9,032	8,836	9,000	9,000
各種事業開催回数	人	85	108	106	110	110
各種事業参加者数	人	1,251	2,342	2,055	2,200	2,200
修繕件数	件	1	1	4	1	1

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
	 ・子育て教室「にこにこタイム」の実施(毎週月曜日開催)	子育て教室開催回数		48	54	52
		各種教室開催回数	口	37	49	49
活動実績 (R5年度に	・各種教室の実施(丁作タイハ、折り紙タイハ、スポーツタイハ、ス	行事開催回数		0	5	5
行った主な活し		事業費計	千円	11,802	12,722	13,974
#JI JLI/		一般財源	千円	8,369	9,101	10,682
		特定財源(国·県·他)	千円	3,433	3,621	3,292
		(うち受益者負担)	千円	305	506	292

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明
(定量及び
定性)

・新型コロナウイルスが第5類へ移行し、規制が緩和されたことにより入館者等の数値が徐々にではあるが以前の状況に戻りつつある。また、減った事業者への参加者数を取り戻すため、実施事業のPR活動を重点的に実施した。R4とR5の一般来館者数(こどもクラブ利用児童を除く)を比較すると、R4が5,615人、R5が6,586人であった。

	(.) 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	W /C_3/ (C					
ŋ	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
ŧ	入館者数	人	5,082	9,032	8,836	値が大きいほど良い	効果が下がった
	各種事業開催回数	人	85	108	106	値が大きいほど良い	効果が下がった
•	各種事業参加者数	人	1,251	2,342	2,055	値が大きいほど良い	効果が下がった
~	修繕件数	件	1	1	4	値が小さいほど良い	効果が下がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	0指標
(251246	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	4指標
指標値増減)	指標全体	効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			0

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

より多くの方々に子育て教室や各事業への参加を促すための周知方法等の検討

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

」 事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、	受益者負担の見直しなど)
------------	-------------	--------------

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

コ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

子育て教室や各事業への参加者を増やすため、ホームページ等への掲載、各種施設(学校、 近隣金融機関、商店等)でのポスターの掲示等、より多くの方々の目に留まる周知方法の改善に努める。